

## ☆中国

### 合繊設備

### 海利得、産業用ポリエステルFへ投資

このほど、大手ポリエステルメーカーの浙江海利得新材料は、本社がある浙江省・海寧・経編産業圏馬橋工場区の、年産4万トンの産業用ポリエステル長繊維プロジェクトに投資する計画を明らかにした。投資期間は2年、投資総額は3.98億元。

年産4万トンの産業用ポリエステル長繊維の設備能力のうち、2万トンがエアバッグ用、残りの2万トンがシートベルト用の強力糸となる見込み。同社は、既に、エアバッグ、シートベルト用のポリエステル長繊維の生産・販売を行っており、国内外に販売ネットワークを有している。また、その製品のレベルは、国内でトップレベルにあり、高い品質競争力を有しているという。そのため、同社の提携先から自動車向けのポリエステル長繊維に対する注文が増加、今回の計画を決定した。プロジェクトが完成すると、売上は年間5.97億元、純利益は1.09億元増加する見込み。

## ☆ベトナム

### 化繊設備

### 暁星、パンプスの設備増強、Q3に終了へ

韓国の合繊メーカーの暁星は、現在進めている、ベトナム南部のDong Nai省のスパンデックス工場の増強を第3四半期（7～9月）に終える予定だという。これにより工場の設備能力は1万トン増加して5万トン/年になる予定。（参考記事：海外速報No.963）

この増強は、ビクトリア・シークレット、ユニクロ、スピード等、国際的なアパレルメーカーが生産拠点をベトナム、インドネシア、バングラデシュ等の東南アジア諸国へとシフトさせることに対応したものの。

暁星は、環太平洋パートナーシップ協定（TPP）の発効により同国の繊維市場が急速に成長し、スパンデックスの需要が伸びることを期待しているという。

2013年のベトナムの繊維品輸出は、前年比18.6%増の179億ドルで、その内、第一位が米国の86億ドル、続いてEUの27億ドル、日本の24億ドルであった。

## ☆米 国

### 経 営

#### Cytec と Dralon が炭素繊維事業で提携交渉

米炭素繊維および化学メーカーCytec Industries Inc.はドイツの  
アクリル繊維メーカーDralon GmbHと、炭素繊維の開発に関する戦略  
的提携について交渉を開始したことを明らかにした。

Cytec Industriesによると、大手自動車メーカーは今後燃費向上  
のため車体軽量化を図っており、炭素繊維の需要は、こうした自動車  
分野に牽引され、急速な拡大が予想される。同社は、これまで高性能  
自動車用部品、航空部品に炭素繊維部材を供給してきたが、今後は次  
世代自動車市場向け炭素繊維部材開発をさらに積極的に追求してい  
く。そのため、コスト低減、原料調達の安定化などが重要となってい  
ており、アクリル繊維の技術開発力、ブランド力を有し、欧州市場に  
強みを持つ Dralon と戦略的パートナーを締結することによって、そ  
の地位を固めたいとしている。

一方、Dralon は、炭素繊維プリカーサの製造ラインの新設計画の  
ほか、既存のアクリル繊維製造ラインを炭素繊維用プリカーサ製造ラ  
インへ転換する計画についても検討中であるという。

(以上)